

グループもみじ

法人理念



「ひとりの人を大切にした まごころ介護」

「ひとりの人の可能性を信じる まごころ介護」

私たちグループもみじは出会いから、最期まで
ご本人・ご家族のパートナーとして寄り添い続けます。

「必要なときに・必要なことを・必要なだけ」
もう一つの我が家として暮らしのお手伝いをいたします。

コロナウイルスの感染拡大の影響で様々なイベントの自粛が求められています。そんなコロナ禍、グループもみじならではの行事が行われました。今年ならではの身近で楽しむ楽しみ方に注目が集まっています。

みんなのあもり



グループもみじ
みんなのあもり

さくら



長野市 & 松本市

タヤけ小やけ



お別れと心に浮かぶ日々の記憶

グループもみじでは、毎年お盆の時期に人生の最期の時と一緒に過ごさせて頂いた、今は亡きお年寄りの皆さまの思い出を語り合う「偲ぶ会」を行っています。各事業所で亡くなられた方々を想い悼みました。



みんなのあもり

スタッフに対して丁寧な対応や細やかな心配りをしてくださったり、時にはお茶目で明るくエネルギーなミツエさん、お正月の書初めではしっかりとした力強い文字を書かれました。



スタッフに対して「こうしてほしい」という希望が明確にある方でした。「足の位置はこれでいいですか?」「頭の高さはこうでしょうか?」と何度も何度も確認するやりとりのあと、ナオジさんが「おう、よくやった!」というように頭をポンポンとなでて下さいました。また、「奥様と一緒につかの間の幸せ」を感じさせる一面も見られました。



フミオさんの優しくおらかな姿にいつも癒されていました。

タヤけ小やけ



マルコさんは、明るい笑顔でいつもみんなを優しく包んでくれました。



エイイチさんの頑張っている姿は、今でも私たちの心に残っています。勇気をありがとう!

偲ぶ会を終えた後、新聞を見ながら一言「きゅうりとなすの馬の意味がわかったよ、この年まで生きてきて、今わかった」「きゅうりの馬で早くお迎えして、ナスの馬でゆっくり帰ってもらうんだって、へえ～」

お盆の時期に飾る“きゅうりとナス”
その意味は?

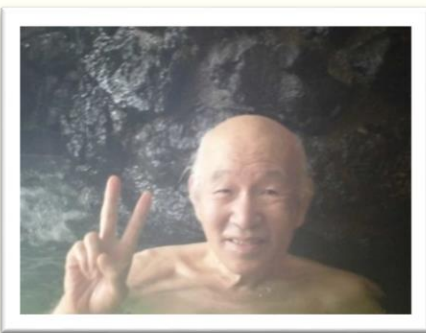


精霊馬
(しょうりょううま)

宅老所さくらに5年間通われていたトシさんが先日永眠されました。急なことでご家族も動揺される中、宅老所さくらのスタッフが一丸となって最期までご家族に寄り添わせていただきました。トシさんとのお別れの様子をご紹介します。

7月30日から8月2日までの4日間。私たち自身がトシさんへの恩返しをさせていただいた4日間だったように思います。

平成27年5月より約5年間。振り返ってみると、当時認知症を抱えられ、さくらに来られる前に2か所の事業所に通われていましたが、トシさんにはその場が合わず、縁があってさくらに来てくださいました。通所当時はさくらから帰宅された後、奥様に「今から歩いてあそこに断りに行ってくる」と何度もそんなやり取りがあったそうです。その内カメラが趣味だったことをお聞きし、トシさんといろんなところへ出かけました。遠出して温泉に行ったりラーメンを食べに行ったり。そうしているうちに無口だったトシさんが徐々に、“県庁の財政課で定年まで働かれておられた”ことのお話や、“バレーボールを指導されていた”ことなどをお話してくださるようになり、数か月後には奥様から「主人がさくらに行く準備を朝から始めているんです。」とびっくりしながら話してくださいました。それからは通所の回数も増え、トシさん自身がさくらを居場所として受け入れてくださいました。トシさんと過ごさせていただいた5年間、私たちにとっても色濃く一生忘れることができない貴重な宝物です。「口より行動」、真の強さ・やさしさをトシさんから教えていただきました。いつも温かく優しい奥様にはこれからもお世話になります。どうか天国でみんなのことを見守っていてくださいね。トシさん今まで本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



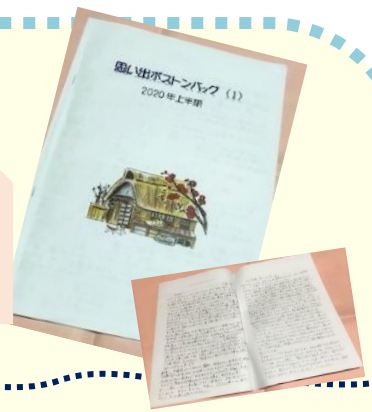
葬儀の後、ハワイにいらっしゃるトシさんの娘さん（父親っ子でした）からお礼のメールをいただきました

本当に数え切れない助けをしていただいて、感謝しすぎて、胸がいっぱいでどんな言葉を言ってもいいのかわかりません。長い間父と一緒に過ごしてくださったこと、父と母が困った時はいつもそばにいて暖かく助けてくださったこと、一生忘れません。-中略- 直接お礼できないこと許してください。今度帰国したら必ず

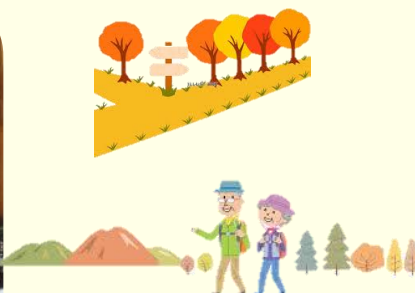
お伺いしますから！

思い出ポストンバッグ

グループもみじでは、亡くなられた方々へ職員の想いをつづったお手紙を「思い出ポストンバッグ」として残しています。人生の最期を共に歩ませていただいたことに感謝申し上げ、その内容の一部を紹介いたします。



シゲノブさんとの出会いは、夢いちもんめでした。奥様と二人暮らしで、「すでに認知症を発症してから数年は経過している様子で、夜間の徘徊や短期記憶の障害で奥様が疲れ切っているので、日中だけでも奥様を休ませてあげたい」との相談で夢いちもんめの利用が始まりました。初めは「僕は行かないよ！ 行くなら母さん行ってきなさい」とお迎えに行っても出かけようとしません。「山を見にドライブに行きましょう」と言って、車に乗っていただくことからでした。そのうちに道中、山が見えてくると「すごいね～いいね～感動した～」と毎回大喜びをされるようになりました。「山が大好きで私もよく一緒に登ったわ」と奥様が話されました。その後しばらくして様子が大きく変化し、夜間の行動も数か月が続き、奥様の体調と夜間の介護にも限界が出てきて、シゲノブさんはタやけ小やけで過ごすことになりました。1年ほどして、徐々に嚥下障害が出始めるようになり、主治医の先生と相談をしながら経過していましたが、ある時誤嚥性肺炎で入院されました。しかしコロナの影響で家族でも面会もできませんでした。そんな時医師から「もう老衰で看取りを考えてください」と連絡があったと息子さんから伝えられました。ご家族から「これまでタやけ小やけさんでお世話になってきました。最期は慣れ親しんだタやけ小やけさんに戻って看取ってもらいたい」と言われました。「今のこのタイミングでの看取りは病院であれば死ぬまで家族と会うことはできない。こんなせつない話はない。私たちなら何とか工夫をして家族に看取っていただくことができるのではないか」「ひょっとしたらまた口から食べられるようになり、また元気を取り戻してもらえるのではないか」と期待をもって、再びタやけ小やけで過ごすことになりました。「シゲノブさん退院おめでとう！」そしてその日から旅立つ最期の一口まで大きな口を開けて嬉しそうに水分を含まれていました。ご家族にもお会いいただくことができました。亡くられる前日「お父さん長年ご苦労様でした。もういいよ。」「お父さんありがとね。いろいろ世話になったね。」と、息子さんがかけた言葉で私たちの役割を果たせたのではと感じた瞬間でした。

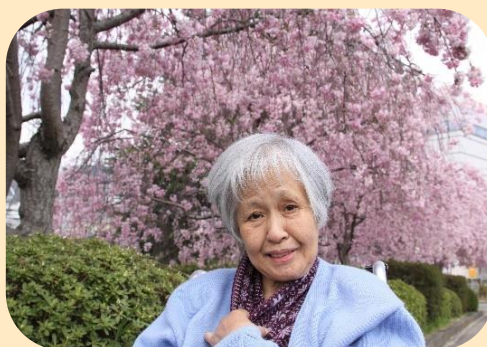


季節で感じるもみじの宅老所

4月

春の気配

みんなのあもり



コロナ禍の中、今年は隣の公園でお花見をしました。
さくらの花以外にも水仙、ヒヤシンスが咲き誇り
「今年も桜が咲いたね」「桜もいいけど他の花もきれいだね」
と春の気配を感じた一日でした。



ちまき作り

さくら



ソーシャルディスタンス？



ちまきは新潟・上越地方でよく作られています。熊笹の葉にもち米を包んで茹で上げたちまきは、笹の香りがしてとても美味しかったです。





5月

母の日に



タヤけ小やけ



あら、素敵なお花ですね

みんなのあもり



母の日メニュー



ほら、みて、素敵でしょ！

さくら



みんなのあもり

6月

父の日に



こんなにたくさんのたけのこをいただきました。さっそくみんなで皮をむいて、この後おいしい“たけのこご飯”を頂きました。



父の日に、感謝を込めて笹寿司とノンアルコールビールでお祝いました。黄色は父の日のシンボルカラーとのことです。「きれいだね〜」



さくら

消防避難訓練



火事です！
火事です！



全員が無事に避難できました



私も6月15日で、100歳になりましたよ

おめでとう
ございます



さくらのマキ子さんが10月1日、109歳のお誕生日を迎えられました。現在、長野市一のご長寿でいらっしゃいます。いつまでもお元気でいてください。

グループもみじ



代表のおじババ

いんこく ようほう
「陰徳あれば陽報あり」

見えないところでの努力は、必ず良い結果として表われる。

日に当たるところでの仕事の努力も良い評価を得るが、日陰であっても人に見られようと、見られまいとその仕事を自分の仕事と決めてする努力は信用という大きな評価を得る。

グループもみじの集団は、そのような人たちの努力の集団でありたい。

認知症の方への接し方がわからない…
お年寄りを地域で支えるためには何が必要？
自宅で最期を迎えることは可能？
介護でお困りのことなどお気軽にお問い合わせください。

グループもみじは、2000 年（平成 12 年）に長野市安茂里に宅老所みんなのあもりを開設して以来、おかげさまで今年で発足満 20 周年を迎えました。今後とも皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

～コロナ禍でのグループもみじ学習会～

グループもみじは、これまで毎月講義形式で“もみじ学習会”を行っていましたが、今年はコロナウイルス感染を避けるために、資料参照、DVD の視聴、CD を聴く等今までとは違った形式での学習会を行っています。そんな中多くのスタッフが課題に前向きに取り組んできて、少しずつその成果が表れています。今後の私たちの実践に活かしたいと思います。

課題 5 月 新型コロナウイルスの対策

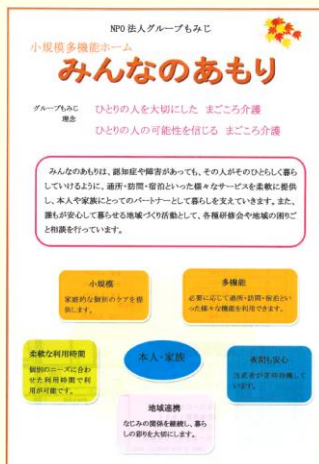
6 月 熱中症予防とコロナ予防

7 月 もみじ支援講座 DVD を視聴して

8 月 CD 手紙聴いて

9 月 出会いから別れまで

～寄り添い上手とは～



上記パンフレットをご希望の方は下記までご連絡ください

NPO 法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市安茂里葎ヶ淵 1861

電話 026-227-4425 FAX 026-217-7764 ホームページ グループもみじ

検索



介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。見学も随時受け付けております。

みんなのあもり

長野市安茂里葎ヶ淵 1861

026-226-0903

宅老所さくら

長野市吉田 5 丁目 13-7

026-244-7104

タヤけ小やけ

松本市並柳 1 丁目 3-18

0263-87-2760